

頌 栄

No. 110

日本キリスト教団 頌栄教会

〒155-0031

世田谷区北沢 1-42-10

Tel 03-3467-3664

Fax 03-3467-8332



あなたがたの上に聖霊が降ると

牧師 清弘 剛生

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受けらる。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」

使徒言行録 1・8

主は福音がサマリアに、さらには地の果てまでも福音が宣べ伝えられることを予見しておられました。サマリアには、ユダヤ人と決して融和することのなかったサマリア人がいます。そして地の果てまでならば、そこには異邦人もいません。ならば教会は、ただユダヤ人だけの教会とはなりません。彼らはそこに、サマリア人も、異邦人も迎えることに

なります。そして、それが実現するためには、隔ての壁を打ち壊す聖霊の力がどうしても必要だったのです。

実際、「地の果てに至るまで」とイエス様が言われたにもかかわらず、使徒たちは当初、ユダヤ人以外にキリストを宣べ伝える意志など、まったくありませんでした。サマリア人がいる教会、異邦人がいる教会など、考えも及びませんでした。この隔ての壁、特にユダヤ人と異邦人を隔てる壁がいかに厚いものであったかを、使徒言行録は正直に伝えておられます。それを取り壊したのは、人の力ではなく聖霊の力に他なりませんでした。

「地の果てに至るまで、わたしの証人となる」。この言葉が実現したからこそ、この日本にも異邦人キリスト者である私たちが存在しています。聖霊が隔ての壁を壊してください。だからです。そして、今、私たちに同じ言葉が与えられております。「地の果てに至るまで、わたしの証人となる」と。

ならば、私たちもまた、自分とは全く異なる他者との出会いがあること、もしかしたら自分とは相容れない人々を招き迎えることになることをも想定しなくてはなりません。

「すべての人を招き迎える教会」。これが今年度の主題です。それは人間の力によっては実現不可能です。聖霊の御力によってのみ、初めて可能となるのです。まず私たち自身が聖霊によって変えられることを求めましょう。